

導入 ～アルバイト業務説明～

初めまして。
二階堂です。

君が検体ですか？

なるほど。
まずは、治験に参加してくれて有難う御座います。

早速ですが、説明しますね。

まず、ここは私の研究施設です。

今回、アルバイト募集をかけたのは、
とある研究データが欲しかったから。

高単価なものもあって、結構な応募があったんですが、
私の助手が、君が一番適任そうだからと選んだみたいです。

って…ああ、違う。
それより治験の内容ですね。

これから君には、私から施されるあらゆる手段に対して、
射精我慢をしてもらいます。

射精我慢に成功すれば、次のランクへ進める。
失敗すれば、徹底的に君の精子を搾精させてもらいます。

単純明快。
簡単なお仕事でしょう？

そして、君がどこで射精してしまうかによって、
精子にランクをつける。

一回目の攻めで射精してしまったら、ランク外精子。
二回目の攻めを我慢出来ればDランク。
失敗すればFランク…といったイメージです。

まあ要するに、マゾの雄のデータを集めてるんです。

理由…？
純粋に興味があるんです。

本来、雄というものは雌を屈服させたがる生き物。
それなのに、マゾの雄というのはその逆。

その雄の精子はどんなものなのか。
研究してみたくなった、と言ったところでしょうか。

まあ、もっと単純に言うと…面白そうだから。

それが一番の理由です。

なので、ここまで言えば分かると思いますが…
私が検体として欲しいのはマゾ。

子孫を残す為に、神から雌を犯す事を許された雄が、
その手段である射精を、雌によって管理されたらどんな風になるのか…

そして、その精子にランクをつけてみたら、
更に面白くなるんじゃないかと思ひまして。

まだ治験が始まったところなので、データが少ないんです。
なので、今後の研究の為に、君には頑張って欲しいですね。

それじゃ、説明は以上となります。

質問はないですね？

…それじゃあ、早速始めましょうか。

よろしくお願いしますね。

検体君？